

県・市の若手職員による「消防のあり方研究チーム」について

1. 経緯

災害の複雑・大規模化や、救急のニーズ等の多様化など、消防を取り巻く環境の変化と、東日本大震災以降に顕在化した課題を踏まえ、今後の消防のあり方を研究するため、「消防のあり方研究チーム」が、平成 25 年 12 月に設置されました。

この研究チームは、県安全防災局と市町村消防本部の若手職員から希望を募り、設置されたもので、県内消防力の向上に関する施策事業について、これまでの枠組みにとらわれず、自由な発想と新たな視点から議論し、県及び市町村に対し、政策提案することを目的としています。

今月、中間報告が出され、7 月には最終報告を取りまとめる予定です。

2. 構成員

ファシリテーター： 県消防学校職員

チーム員： 県安全防災局及び市町消防本部の若手職員（20～30 代）12 名（ ）
（ 県内 25 消防本部のうち、8 つの消防本部から参加）

3. 開催経過

平成 25 年 12 月 17 日	第 1 回研究会	チーム員による研究項目提案
平成 26 年 1 月 24 日	第 2 回研究会	課題の洗い出し、施策案提案
2 月 26 日	第 3 回研究会	研究項目の絞り込み、作業班分け
3 月 24 日	第 4 回研究会	研究項目別の施策(案)報告、意見交換
4 月	研究会中間報告	

中間報告の骨子

- 消防本部の県規模の連携強化
 - ・ 県全体の消防本部の調整組織
 - ・ 消防指令業務の県規模の共同運用
- 県・消防本部での人事交流・人材活用
 - ・ 県職員の現場研修
 - ・ 県と市町村、市町村相互の人事交流
- 救急車の適正利用
 - ・ 救急出場の統計情報の分析
 - ・ 救急有料化、民間活用の検討

4. 今後の予定

4 月～7 月 第 5 回～8 回研究会
7 月 最終報告

（問い合わせ先）

神奈川県安全防災局安全防災部消防課
課長 本山 電話 045-210-3422
課長代理 和泉 電話 045-210-3444